

2012 年度 北大生協

環境報告書



美しいキャンパスと共に歩んで

北海道大学生生活協同組合

目次

1. 専務理事あいさつ _____	02	2) 事業改善への取り組み	
		◇省エネルギー・省資源 _____	11
		・電気使用量	
		・ガス使用量	
		・ガソリン・軽油・重油使用量	
		・レジ袋使用量	
		・紙資源回収量	
		・水道使用量	
		◇資源の循環利用 _____	13
		・ごみの分別状況	
		・食堂廃油のBDF化	
		・ビン・缶・ペットボトルの再資源化	
		・産業廃棄物	
		・使用済みトナーカートリッジ回収	
		・国産間伐材割り箸の使用	
		◇環境保全 _____	18
		・食堂排水の管理	
		・グリーン適合商品の優先供給	
		・不要・放置自転車の回収	
2. 北大生協環境活動概要		5. 組合員・地域の方へ _____	22
◇事業概要 _____	03		
◇環境実施体制 _____	04		
・環境実施体制			
・2012年度の委員会活動			
3. 2012年度のまとめ（自己評価と課題）			
◇組合員・社会に向けた取り組み _____	05		
◇事業改善の取り組み _____	05		
◇北海道大学との協力 _____	07		
◇次年度に向けて _____	08		
4. 詳細報告			
1) 組合員との環境活動			
◇環境配慮への啓蒙活動 _____	09		
・機関誌			
・大学祭でのごみナビゲーション			

北大生協環境方針（2005年10月理事会にて策定、2011年委員会・理事会で今後も維持することを確認）

私たち北海道大学生協同組合は、「環境保全は私たちの行う様々な活動の基礎である」との認識にたち、様々な福利厚生事業を対象に、環境への影響の大きいものについて技術的且つ経済的に可能な範囲において、目的・目標を設定します。それらに取り組むことによって環境負荷の軽減と汚染の予防を図り、環境マネジメントシステムの見直しと継続的改善を積極的に進めていきます。

1. 北海道大学の環境方針、環境関連の法律、規制、条例及びその他受け入れを決めた事項を遵守します。
2. 北海道大学の環境マネジメント実施体制に積極的に参画します。それらの活動に参加する組合員の活動を応援します。
3. 生協施設における電気・ガス・水道および紙・包装資材の使用量を抑制するとともに、事業系廃棄物の削減・再資源化に努めます。
4. 環境負荷に配慮した商品の開発・改善・普及をすすめます。また「グリーン購入」の取り組みを推進します。
5. 学生・院生の環境配慮に関する活動の場をたくさん作り、北大構成員自身による環境活動を広げます。

専務理事挨拶

◇ 専務理事挨拶

—2012 年度 環境配慮へのとりくみ紹介—

北大生協では、2005 年度から行っております「環境配慮へのとりくみ紹介」を、2007 年度より「北大生協 環境報告書」として、毎年作成し、今年度も作成いたしました。



北大生協は、2005 年 9 月に北海道大学の環境方針が定められたことを受けまして、2005 年 10 月に北海道大学の環境方針に沿い環境負荷の低減と環境保全に努めるために「北大生協環境方針」を決定しました。さらに「環境保全は私たちが行う様々な活動の基礎である」との認識にたち、様々な福利厚生事業を対象に、環境への影響の大きいものについて技術的かつ経済的に可能な範囲において、目的・目標を設定してまいりました。それらに取り組むことによって環境負荷の軽減と汚染の予防をはかり、環境マネジメントシステムの見直しと継続的改善を積極的に進めています。

この間の取り組みをご紹介しますと、2006 年度から行っている①道内産の森林育成につながる割り箸の採用（06 年 10 月から）②食堂から出る廃油の再資源化（06 年 11 月から）③大学内の放置自転車の再資源化（06 年 11 月から）④北大女性研究者支援室に協力したトナー・インクカートリッジの回収（07 年 9 月から）⑤食堂を中心としたごみ分別強化（07 年 10 月から）⑥レジ袋の削減と水道等の使用実績の削減に向けた取り組み（09 年年度から）などを行っています。また大学祭では大学祭実行委員会とも連携して学生によるごみ分別ナビゲーション活動、学部事務と連携して大学内の放置自転車の再資源化の取り組みを行っています。放置自転車は、2012 年度で 595 台、2006 年から 2011 年度の回収は 4,270 台にのぼっています。学内の放置自転車を減らし、リサイクルに関心を持ってもらう活動や大学部局との連携により、放置自転車の減少につながる活動を行っています。

2012 年度は、政府の要請にもとづく「計画停電」の対応と節電対策を、大学と密接に連携して行いました。飲料自動販売機については、全台最新の省エネタイプへの切り替えと照明等の調整を行っています。また、店舗内照明や冷蔵什器等の照明も可能な限り節電に努めています。

今後は、理事会のもとに設置した環境課題推進委員会で、2012 年度の取り組みを踏まえて、引き続き環境課題に取り組んでまいります。

毎年、確実に一步・一步前進していきたいと思っておりますので、引き続きご指導をお願いします。

2013 年 12 月 1 日

専務理事 中村 伸司

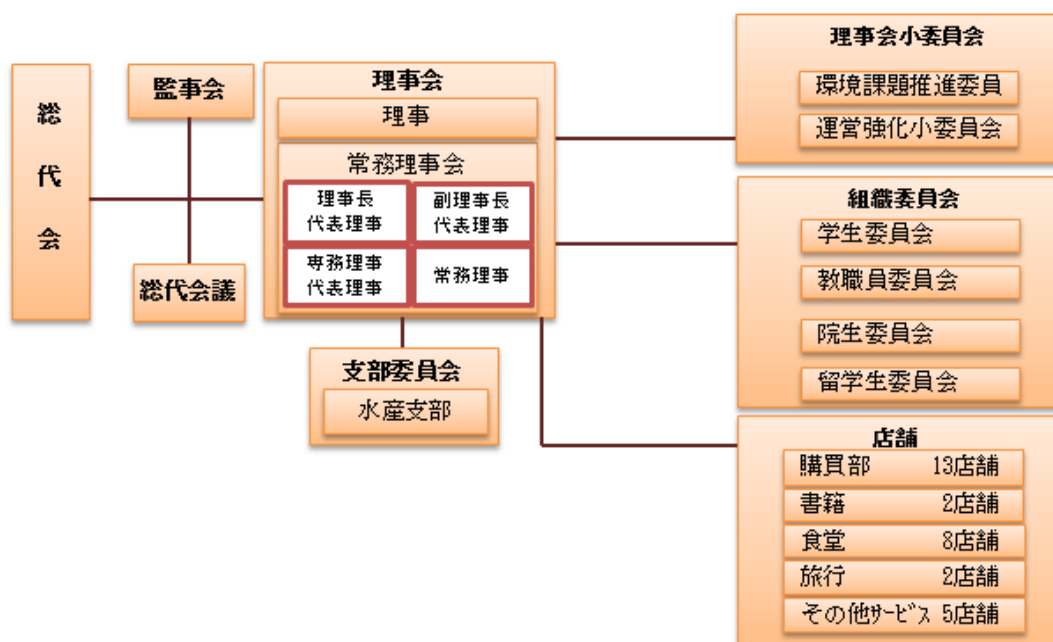
北大生協環境活動概要

◇ 事業概要

《事業規模》

		2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度
組合員数(人)		29,812	29,904	29,544	29,728	29,954
出資金総額(千円)		455,110	450,207	439,108	443,673	445,209
供給総額(千円)		6,245,410	5,854,262	5,677,527	5,314,442	5,166,514
内訳	購買部	2,735,554	2,474,952	2,348,509	2,226,155	2,257,300
	書籍部	930,607	924,317	860,133	783,764	726,988
	食堂部	1,019,284	805,011	821,133	831,616	811,320
	旅行部	1,202,969	1,372,580	1,375,614	1,248,347	1,157,608
	その他サービス	356,996	277,402	272,158	224,560	213,298
経常剰余(千円)		26,241	40,918	35,745	29,207	39,493
正規職員数(人)		58	51	52	51	51
非正規職員数(人:正規換算)		218	221	221	218	224

《2012年度運営組織図》



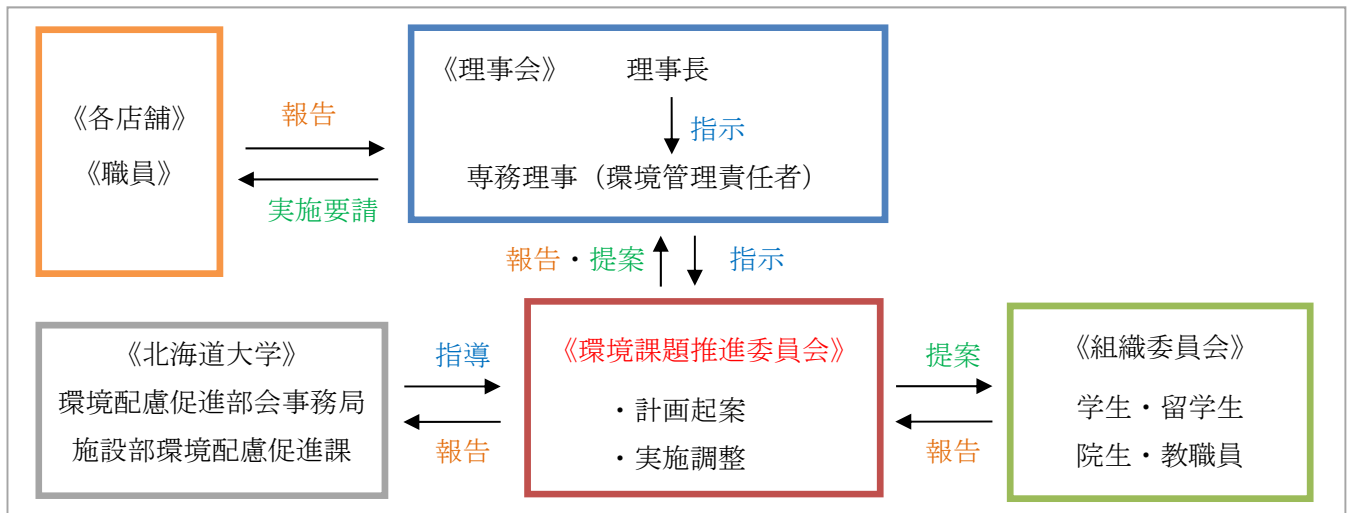
理事会小委員会は、北大生協の各組織を横断して、学生・院生・教職員・生協職員が参画しながら特定の課題を推進するために設置されます。理事会の下部組織であり、各年度当初の総代会で設置が承認されます。

環境課題推進委員会は2008年度より毎年設置承認され、常任のメンバーとして各組織委員会の委員や理事会室職員が参加しています。また、議題によっては各店舗の店長や監事ともオブザーバーとして意見交換しながら、北大生協として取り組むべき環境課題について提言を進めてきています。

◇ 環境実施体制

■ 環境実施体制

北大生協環境課題推進委員会は、理事会の指示の下で各店舗や組織委員会に対して環境対策の諸提案を行います。また、北大生協の環境活動について北海道大学に報告し、指導を受ける窓口となっています。北海道大学内外のサークル・研究室等からの協力要請に対して、理事会に諮りながら協力・支援をしています。



■ 2012年度の委員会活動

《メンバー》

委員長 井上（学部生）

委員 野村・谷・日下・山田・大村・中川（以上学部生）、中川・山本・萩野（以上院生）、坂爪（教員）

事務局 片木・大内（以上理事会室職員）

《委員会としての主な活動》

- ・ 7月19日に第1回環境課題推進委員会を開催。その後総計3回の委員会を開催しました。
- ・ 8月24日に環境委員3名で「省エネルギー実態見学会」を行いました。購買・食堂・書籍など各生協店舗7か所で、実際にどのようなクールビズを行っているか、職員に直接聞いて回りました。また、昨年度に引き続き「節電」が重視されていたこともあり、生協店舗での節電状況も確認しました。
- ・ 自動ゴミ圧縮機 プレモ 200（株式会社日鐘製）に関する提案を7月期北大生協理事会に行い、生協会館・クラーク会館店に一台導入しました。
- ・ 今年度は北大生協から派遣はしませんでした。10月22日～23日に滋賀県立大学にて全国大学生協連主催の「環境セミナー2012」が開催されました。
- ・ 2012年度環境報告書を作成しました。

2012年度のまとめ（自己評価と課題）

この2012年度のまとめは、2012年度、北大生協において行われた取り組みを環境委員会で集約し報告するものです。

◇ 組合員・社会に向けた取り組み（北海道大学環境報告書の「社会への貢献」に対応）

環境項目	北大生協の環境目標(2012年度)	取り組み・成果	評価
情報公開	・2012年度の環境課題・目標を作成し、次年度の総代会で取り組み報告を「2012年度環境報告書」として公開します。	・2012年度環境報告書公開（北大生協HP）	△
	・組織委員会の機関誌(きぼうの虹やLetter)を通じて、北大生協の環境配慮への取り組みを伝えるなど、組合員に対する環境配慮への意識向上を促していきます。		○
地域貢献	・機関誌やWebサイトを通じて、環境への取り組みを知らせていきます。 ・組合員と一緒に環境について学習できる機会を増やします	・ごみナビゲーション実施(pp. 9-10) ・機関誌Letter(p. 9)	○

(昨年度の達成度との比較 ◎=より改善 ○=同程度の達成 △=届かず ×=実績なし)

※「環境項目」は北海道大学環境報告書に対応しています。

情報公開では、例年通り委員会内で決めた環境課題と目標について、環境報告書を作成することができました。当初の予定では2013年6月に実施される総代会に向けて作成を行う予定でしたが、データの整理に時間がかかったことから報告書としての作成は見送り、Webページ上での報告になりました。

学生組織委員会が発行するLetterでは節電をテーマとした記事を扱い組合員に節電への意識向上を促しました。また、北大祭でのごみナビゲーションも例年通り行うことができました。

◇ 事業改善の取り組み（北海道大学環境報告書の「環境負荷の低減」に対応）

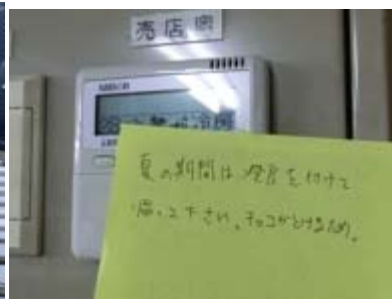
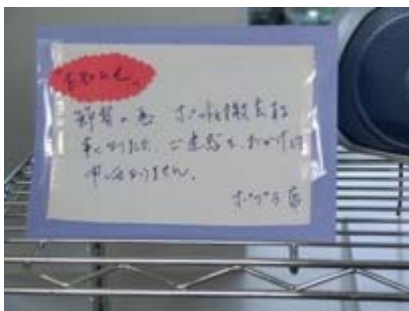
環境項目	2012年度の環境目標	取り組み・成果	評価
省エネルギー	・今年も全店でクールビズに取り組みます。 ・エネルギー使用量削減を各店舗に呼びかけます。	・サステナブル推進本部と連携した取り組みとして、クールビズ/ウォームビズ実施、自動販売機は省エネタイプに全台更新 ・各店舗で節電状況を確認	◎
省資源	・引き続きレジ袋使用率を計測し、昨年度の使用率の現状維持に努めます	・2012年度は集計を実施せず	×
資源の循環利用	・ごみのリサイクル率に注目し、全体の資源化の比率を上げていきます。 ・必要に応じて、各店長と削減のための方策について話し合う機会を設けます。	・ごみの分別率がやや低下 ・資源ごみ圧縮装置導入の提案	△

省エネルギーについては、昨年度の取り組み継続とともに、節電も積極的に行ったことや自動販売機の機種を省エネタイプに全台変更するなどの結果、全体としての使用量は前年度よりも抑えることができました。クールビズや節電に関しては、店舗での取り組みの様子を委員会のメンバーが確認するなどをして徹底を図りました。

資源の節減については、レジ袋のデータを今年度は集計していませんでした。来年度以降はデータをしっかり取り現状をつかめるようにしていく必要があります。

～節電の実施状況～

節電の具体的な取り組みとしては、各店舗でこまめな照明の ON/OFF、間引き照明を実施により無駄な照明の利用を少なくしたことや、冷房の設定温度を上げたことがあります。また、購買ではコールドケースと自動販売機の照明を落とし、書籍では看板の照明を、食堂でもショーケースと一部通路の照明を落とすなど、組合員からの理解を得ながら各店舗でできる節電を行いました。



左図 急騰ポットの撤去
(ポプラ購買)

右図 エアコン温度管理を呼びかける紙
(北部店事務所)



左図 コールドケース消灯中のポップ
(工学部購買)

右図 こまめな PC ディスプレーの消灯
(北部店事務所)



左図 蛍光灯の間引き点灯
(中央食堂)

右図 すだれの有効活用
(中央食堂)

◇ 北海道大学との協力（北海道大学環境報告書の「環境負荷の低減」に対応）

環境項目	2012年度の環境目標	取り組み・成果	評価
グリーン購入法	・大学のグリーン購入推進(2005年に定められた環境方針)にあわせて、環境委員会ではグリーン適合商品についての知識を深めるための学習会を開き、生協店舗で積極的に扱っていくことを検討していきます。また、グリーン適合商品以外の環境負荷の低い商品も検討していきます。	・特に取り組みなし	×
環境保全	・引き続き、日常管理を強めて、排水浄化に努めます。	・引き続き、日常管理を強めて、排水浄化に努めます。 ・水質検査（年1回）実施 ・日常清掃を強化	○
	・リサイクルへの関心を持ってもらい学内の放置自転車を減らすために、組合員に向けて具体的な働きかけをします。また、北大生協が放置自転車を無料で回収していることを知らない学部も多くありますので、放置が多くなりそうな時期に合わせてこの取り組みを知らせ、警察への届出を含めたリサイクルへの協力を仰ぎます	・引き取り依頼10部局466台 ・持ち込み129台 ・ポスターの改善・掲示	△

グリーン購入は、北海道大学が主催したサステナビリティウィーク中に行われた講演会に委員1名が参加し、委員会内で参加報告をしたものの、その内容を活かすことまではできませんでした。水質浄化については、週に少なくとも1回行っている店舗ごとの清掃について、各店舗とも排水の改善に努めています。

放置自転車に関する取り組みでは、自転車回収に関するアンケートを作成しましたが、諸事情により回収できませんでした。来年度以降は放置自転車回収状況の確認、自転車の回収・保管の手続きのやり方について、改善点を探するためにアンケートの作成を行うことなどを検討していくことが考えられます。

◇ 次年度に向けて…

2012年度の実績から、次年度北大生協で目指すこと、そのために本委員会で行うことを提案します。

① 組合員・社会に向けた取り組み

本委員会の役割や位置づけを再定義し、北大生協における環境課題の目標設定を行うとともに、課題を絞り着実に実行していく土台固めを行います。

協力団体については、現在交流を行っている団体が減少していることを鑑み、本委員会のあり方の再定義と並列して検討していきます。

各種委員会における企画や広報活動を通じて、組合員の環境課題への関心を高める活動を継続して行います。

北大生協における一年間の環境課題活動を集約し、環境報告書という形で年度末に総代会配布・Webページ上での公開を行います。

② 事業改善の取り組み

各店舗の環境課題について実地調査やデータ分析を中心にして集約します。生協職員・委員・組合員の環境意識の実態については、データが皆無であることから、アンケートを中心にして、実態を解明していきます。

③ 北海道大学との協力

北海道大学のサステイナブルキャンパス推進本部などと連携し、全国規模で進行しつつある大学キャンパスの環境推進活動との歩調を合わせた環境課題活動を行っていきます。

北大キャンパスで深刻な問題となっている、不要自転車の放置問題について、継続して、解決を図っていきます。

2013年度は本委員会の役割や位置づけを再定義する復権の年度とすると同時に、環境実態についてデータ収集・文責を行うマネジメント組織としての正確を残しつつも、職員・学生を混合した人員構成である本委員会の構成を活かして、政策組織としての色彩を強めていきます。また、本来的には、環境課題の推進の主体者は本委員会ではなく、各生協職員、委員、組合員にあるべきでしょう。この点を十分に考慮して、各個人が主体となって環境課題を「自らの課題」として取り組む意識、態度、姿勢を育む制度づくりの検討を行っていきます。

組合員との環境活動

◇ 環境配慮への啓蒙活動

事業系の環境負荷低減に加えて、組合員向けに環境問題への意識付けを目的とした活動を行いました。

■ 機関誌

学生組織委員会発行の機関「Letter」では夏の節電対策（2012年夏号、下左図）や冬のウォームビズ（2012年冬号）について取り上げ、組合員の皆様に節電に対する意識向上を促しました。

また、教職員委員会発行の機関誌「希望の虹（下右図）」では、北大生協が行った節電の取り組みを組合員の皆様に報告しました（2012年8月号、下中図）。



■ 大学祭でのごみナビゲーション

6月上旬に大学構内で開催された大学祭で、ごみの分別を呼びかける活動「ごみナビゲーション」を行いました。この活動は2002年に始まり、今年で11年目になりました。2007年からは檜陵祭事務局とも

協力、連携をし始め、大学祭全体で来場者へごみ分別を呼びかける活動を行っています。

今年はバイオマスカップの分別がなくなりましたが、分別に大きな支障はありませんでした。ごみを捨てに来た方々は皆協力的でごみ分別を意識しているようでした。

分別や環境問題に興味をもってもらうため、環境に関する紙芝居の実施や、袋に入れた1キロ分のごみを持つ体験、環境クイズスタンプラリー、北大祭で出るようなゴミを使用して作成したピタゴラ装置の体験などを行いました。また、「環境戦隊ゴミナビジャー」に扮してヒーローショーを行い、大学祭を訪れた多くの人に環境問題について呼びかけました。

《概要》

実施日時：2012年6月7日（木）～10日（日）

環境紙芝居、ごみ1キロ体験、ピタゴラ装置(廃棄物をリサイクルして作成したからくりおもちゃ)

：高等教育推進機構前

環境クイズスタンプラリー：メインストリート

ゴミナビジャーショー：工学部北側駐車場で開催

スタッフ人数：学生委員約50人 榎陵祭事務局+各出店からのスタッフ約300人



左図 ごみ分別活動の様子

右図 環境紙芝居の実演



左図 ピタゴラ装置で遊ぶ人

右図 ごみナビジャーを演じた人々

事業改善への取り組み

2012年度の対象期間；2012年3月1日～2013年2月28日

◇ 省エネルギー・省資源

■ 電気使用量

表 各年度、各店舗における電気使用量

店舗名	2011年度	2012年度	前年度比
会館店	450,516	427,902	95.0%
北部店	296,201	273,762	92.4%
工学部店	197,963	195,246	98.6%
中央店	246,214	249,508	101.3%
薬学部店	19,992	22,861	114.4%
保健学科店	22,305	23,967	107.5%
獣医学部店	22,124	21,857	98.8%
学生寮店	4,553	3,274	71.9%
クラーク会館	168,572	167,646	99.5%
農学部店	51,980	50,334	96.8%
医学部店	90,724	104,680	115.4%
ポプラ店	55,615	56,264	101.2%
その他自販機	116,616	99,441	85.3%
合計(kWh)	1,743,375	1,696,742	97.3%

薬学部店、保健学科店、医学部店では使用量が増加している一方で、北部店では積極的な節電への取り組みの効果もあり、使用量が大幅に減少しました。学生寮店の使用量が減少している理由は不明です。また保健学科店では新しい設備（冷蔵庫）の追加により使用量がしています。

大学構内に設置してある自動販売機を省エネルギー仕様に変更した結果、使用量が大幅に減少（約15%）しました。

※各店舗の電気使用量は各エリアの自販機を含む。

■ ガス使用量

表 各年度、各店舗におけるガス使用量

店舗	2011年度	2012年度	前年度比
北部食堂	107,480	112,098	104.3%
工学部食堂	25,879	27,445	106.1%
中央食堂	49,944	49,334	98.8%
クラーク食堂	38,062	37,535	98.6%
農学部食堂	4,939	5,074	102.7%
医学部食堂	19,367	20,807	107.4%
ポプラ店	6,696	6,901	103.1%
合計(m ³)	252,367	259,194	102.7%

工学部店、医学部店で使用量が増加している以外は、前年度からの変化は見られませんでした。

※ガスは各店ごと北ガスと北大から供給を受け、表はその合計です。

■ ガソリン・軽油・重油使用量

表 各年度におけるガソリン・軽油・重油使用量と使用自動車台数

店舗	2011年度	2012年度	前年度比
----	--------	--------	------

ガソリン(L)	9,389	9,645	102.7%
軽油(L)	1,703	1,851	108.7%
重油(L)	20,000	21,000	105.0%

車両数が減少したにもかかわらず、ガソリン使用量が微増しました。また軽油の使用量が増加しました。

業務車両台数	2011年度	2012年度	前年度比
軽自動車(台)	35	33	-2
ワゴン車(台)	3	3	0

■ レジ袋使用量

表 各年度、各店舗におけるレジ袋使用量

購買店舗名	10年枚数	11年枚数	10年使用率	11年使用率
会館店1階	54,602	67,997	22.7%	25.1%
北部店	20,693	31,286	6.7%	10.0%
工学部店	19,973	25,707	4.8%	5.7%
中央店	66,843	72,583	23.0%	24.5%
薬学部店	4,371	10,200	4.4%	10.3%
保健学科店	3,446		4.0%	
獣医学部店	1,481	3,654	2.1%	5.5%
水産店	7,000	2,000	11.3%	3.6%
農学部店	3,976	7,000	5.3%	9.8%
医学部店	3,960	10,900	4.2%	12.4%
ポプラ店	1,616	2,572	2.6%	3.9%
合計(枚)	187,961	233,899	10.4%	12.6%
合計(枚) ※保健を除く	184,515		10.8%	

2012年度は諸事情によりデータを取っていませんでした。2011年度のデータのみ報告させていただきます。

※保健学科店はレジ袋の集計ができず、実績0となっています。

■ 紙資源回収量

表 各年度、各店舗における紙資源回収量

店舗	2011年度	2012年度	前年度比
会館店	33.24	28.55	85.9%
北部店	14.21	14.8	104.2%
工学部店	12.52	12.18	97.3%
中央店	13.17	11.9	90.4%
農学部店	2.71	2.08	76.8%
医学部店	3.74	3.37	90.1%
印刷情報	5.77	4.83	83.7%
合計(t)	85.36	77.71	91.0%

古紙回収は大学全体で紙類節減を呼び掛けている影響で、総回収量は減少しています。生協では、不要になった古紙(書類・新聞・雑誌・段ボールなど)を組合員の方が入れられるように各店舗に回収BOXを設置し、紙の再資源化を行っています。回収率は、医学部・農学部で上昇し、その他は昨年より低下しました。

■ 水道使用量

表 各年度、各店舗における水道使用量

店舗	2011年度	2012年度	前年度比
北部食堂	8,368	7,682	91.8%
中央食堂	6,916	6,250	90.4%
工学部食堂	2,604	2,497	95.9%
医学部食堂	1,907	1,936	101.5%
農学部食堂	646	684	105.9%
クラーク食堂	3,037	2,813	92.6%
エルムカフェ	290	301	103.8%
ポプラ店		445	
会館店	805	789	98.0%
合計(m ³)	24,573	23,397	95.2%
合計(m ³)ポプラ店除く		22,952	93.4%

農学部食堂では使用量が増加した一方、北部食堂、中央食堂、クラーク食堂は減少しました。また全体でも使用量が減少しました。

※工学部は10年度データなし

◇ 資源の循環利用

■ ごみの分別状況

北大生協では2008年6月より一般ごみに含まれていた生ごみの分別を始めました。売れ残ったお弁当などを資源化ごみと生ごみに分別しています。

分別率は、2011年度と比較すると、月別、年度別ともに、大きな変化はありませんが、やや低下傾向にあります。月別では6、9月以外、前年度と比較し分別率が減少したことが分かります。年度別の分別内訳を分析すると、2012年度は前年度と比較して、ごみの総計は微増しています。また店舗別みても、会館・クラーク店以外、ごみ総計は増加しているため、分別開始時に比べて分別の意識が下がっていることが考えられます。分別率が低い店舗への分別の状況確認や必要に応じて呼びかけなどを行う必要があります。また会館・クラーク店では分別率が減少していますが、これは自動ゴミ圧縮機により資源化ごみが減少したことが理由として上げられます。

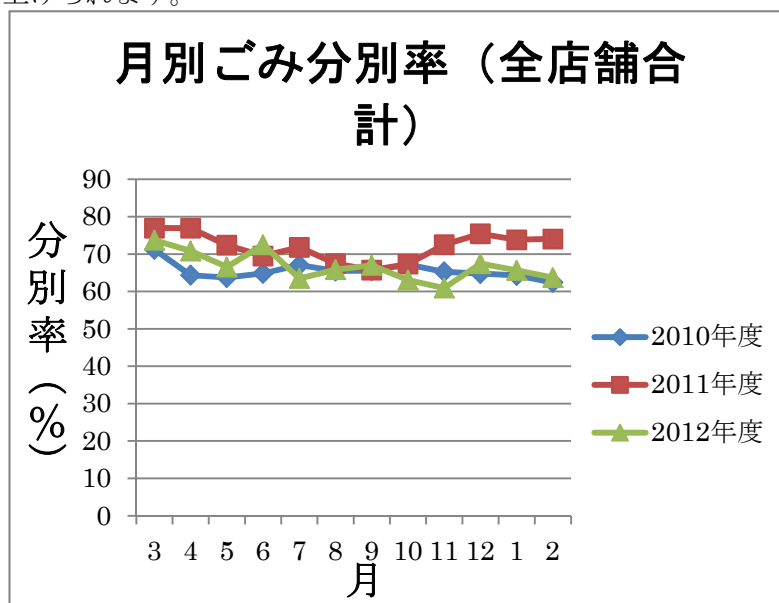


図 各年度に別率

おける月別のごみ分

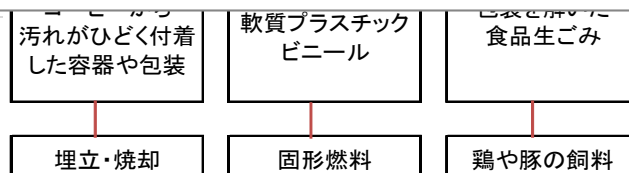


図 可燃ごみの分類およびその後の処理

表 各店舗におけるごみの排出量

店舗	一般ごみ		一般ごみ増減率	生ごみ		生ごみ増減率	資源化ごみ		資源化ごみ増減率	ごみ総計		ごみ総計増減率
	2011年度	2012年度		2011年度	2012年度		2011年度	2012年度		2011年度	2012年度	
会館・ク ラーク	20.66	26.66	129.0%	14.56	14.36	98.6%	233.52	195.36	83.7%	268.74	236.38	88.0%
医学部	39.98	41.62	104.1%	6.44	6.44	100.0%				46.42	48.06	103.5%
北部	46.74	62.84	134.4%	26.54	26.04	98.1%	144.19	148.9	103.3%	217.47	237.78	109.3%
中央	49.88	66.26	132.8%	17.68	18.6	105.2%	135.24	123.62	91.4%	202.8	208.48	102.8%
工学部	57.84	66.12	114.3%	17.56	17.92	102.1%	53.24	52.46	98.5%	128.64	136.5	106.1%
農学部	24.52	25.62	104.5%	3.08	3.2	103.9%				27.6	28.82	104.4%
ポプラ	15.26	15.28	100.1%	5.08	5.22	102.8%				20.34	20.5	100.8%
合計 (m ³)	254.88	304.4	119.4%	90.94	91.78	100.9%	566.19	520.34	91.9%	912.01	916.52	100.5%

■ 食堂廃油のBDF化

食堂で使われた揚げ物用の油（植物油）はすべて回収し、BDF（Bio Diesel Fuel）の原料としています。BDFは軽油と比較して環境負荷が非常に少なく、カーボンニュートラルの特徴を持つため、環境・健康に優しいエネルギーとして注目されています。BDFは、主に札幌市の公用車（ゴミ運搬車など）に利用されています。組合員からの回収も行っていますので、ぜひお持ちください。（p.〇〇）

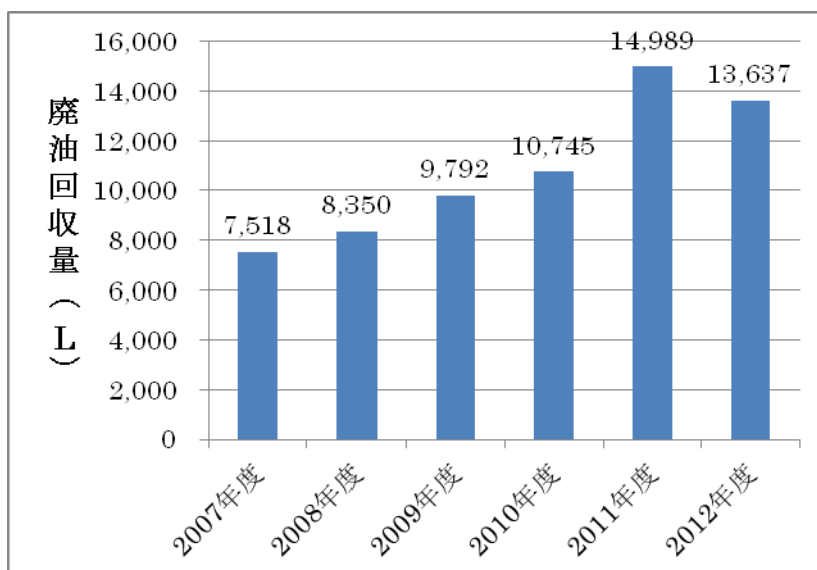


図 年度別の排油回収量

■ ビン・缶・ペットボトルの再資源化

札幌キャンパス内の自動販売機に備えてある空き缶入れからビン・缶・ペットボトルをリサイクル業者に回収してもらっています。回収された資源は、さまざまな形で再資源化されています。ビンスーパーソル（人口軽石）、スチール缶は建築用の資材など、アルミ缶は飲料用のアルミ缶、ペットボトルは粉砕して繊維製品に再利用されています。

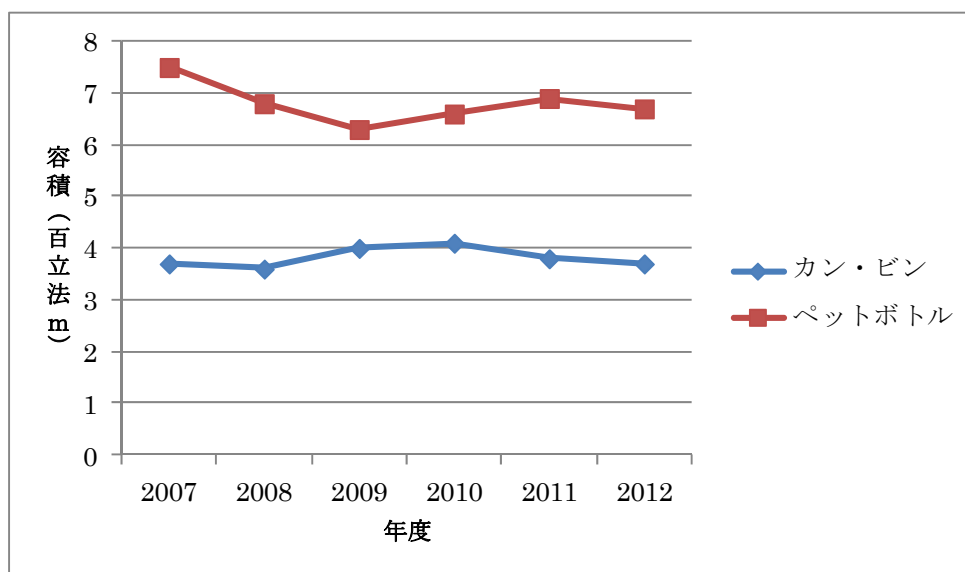


図 年度別の再資源化量（容積/立方メートル）

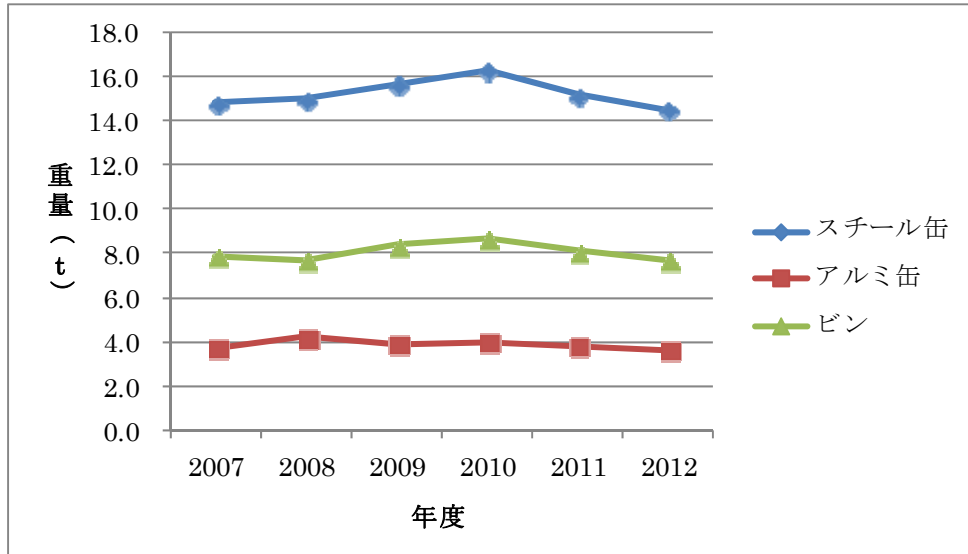


図 年度別のビン・カンの内容別再資源化量 (重量/t)

■ 産業廃棄物

食堂で使用している調味料などの廃プラスチックボトルや食材の入っていた発泡スチロール、商品購入に関わり不要になった PC や家電家具は、産業廃棄物として定期的に回収をしてもらっています。

表 各店舗における産業廃棄物別回収量

店舗	会館店	農学部店	中央店	工学部店	医学部店	北部店	合計
産廃混合 (m ³)	0.5	2.9	8.9	18.6	4.6	12.3	47.8
廃プラ混合廃棄物 (kg)	1476	0	156	0	0	384	2016
廃プラスチック類 (m ³)	0.8	0	0	0	0	0.3	1.1
金属くず (m ³)	3	0	1.2	0	0	2.9	7.1
廃蛍光管 (本)	168	0	0	0	0	52	220
廃プラスチック・発泡スチロール (m ³)	48.4	0	4.3	3.3	0.4	3.5	59.9
廃乾電池 (kg)	53	0	0	14	0	21	88
ガラス、陶磁器くず (m ³)	0.1	0	0	0	0	0	0.1
金属混合廃棄物 (kg)	0	0	0	0	0	154	154
廃 OA 機器 周辺機器(台)	93	0	2	0	0	3	98
廃 OA 機器 ノートPC(台)	15	0	0	0	0	0	15
廃 OA 機器 ディスプレー(台)	18	0	0	0	0	1	19
廃電球 (kg)	0	0	0	0	0	0	0

■ 使用済みトナーカートリッジ回収

北大生協では2007年9月から、使用済みインク・トナーカートリッジの回収を行っています。北大生協で集まったカートリッジは北大女性研究者支援室を通して送付しています。エプソンとキャノンはベルマークに協賛しており、送付された使用済みプリンタートナーやインクカートリッジの量に応じてベルマーク点数を付与しています。2012年度は、女性研究者支援室から道立芦別高校に理科教材を寄贈しています。

表 年度別トナーカートリッジの回収本数

店舗		2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度
キャノン	本数	2,506	5,537	4,112	3,646	5,222
エプソン	本数	2,884	6,542	4,517	4,141	4,824
合計	本数	5,390	12,079	8,629	7,787	10,046

※学内と店舗の回収BOXで回収したもののみです

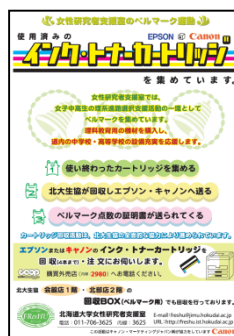


図 トナーカートリッジ回収を呼び掛けるポスター

■ 国産間伐材割り箸の使用

北大生協の食堂で使用している割り箸は全て、持続可能な森林管理の行われている北海道下川町のFSC認証林から産出している間伐材で作られています。日本の森林全体の約40%を占める人工林は、間伐をしなければ丈夫な木が育たず荒廃します。間伐材とは、この過程で間伐された木材のことです。間伐材割り箸を利用することは、安定的に間伐材需要を増加させて、日本の森林の育成に協力することになります。食堂では、カーボン箸と割り箸から組合員が選択してご利用できるようになっています。

※北大生協全体での箸使用量は約56万5千膳、
年間に220万食出食されています



↑ FSC認証は、森林の管理認証 (FM認証) と加工・流通過程の管理認証 (CoC認証) からなっています。



↑ 下川町の町有林

◇ 環境保全

■ 食堂排水の管理

各食堂には、厨房などからの排水に含まれる油脂を捕集・分解する「グリストラップ」が設置されています。グリストラップには生ごみや油脂が溜まるため、食堂では少なくとも週に1回、職員が生ごみや汚泥を取り除く作業を行っています。これにより、排水中の油脂分などが直接下水道や浄化槽に流れることを防ぐことができます。

また、清掃を行っていても発生する雑菌や臭いは、オゾン分解装置によって分解し排水を浄化しています。北大生協では、クラーク・農学部・中央・医学部・工学部の各食堂にオゾン分解装置があり、毎日の清掃がきちんと行われていれば、大がかりな清掃はほとんど必要ありません（北部・ポプラではオゾン分解装置が設置されていないため、年2回ほどのグリストラップ清掃が必要です）。

年に1回、水質検査を行い、排水中の油分等の確認を行っています。



↑ 清掃後のグリストラップ（クラーク食堂）


■ グリーン適合商品の優先供給

平成 13 年 4 月から「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（グリーン購入法）」が施行されています。北海道大学もこの法律によってグリーン購入が義務付けられているほか、国民や事業者もグリーン購入に努めることとされています。

北大生協では、カタログでグリーン購入法適合商品の表示を行っているほか、その他の商品についても環境負荷が低いものを優先的に供給するようにしています。現状において北海道大学のグリーン調達目標が達成できているため、大きな取り組みはせず、現在の表示を継続していきます。



図 グリーン適合商品に該当する商品の文具カタログにおけるマーク

北海道大学生協同組合	
	UNIV. 生協会館店 1 階 CO-OP TEL 011-746-6215
いつもご利用ありがとうございます。	
2009年 5月 7日 (木) 15:59 110101	
NO:04-8287 担:19 菊地	
☆☆もぎたて新鮮アスパラ☆☆ 美味しさを産地直送でお届け!	
★★5月1日～受付開始!★★ お申込は会館店1階サービスカウンターまで!!	
13 @PFE-80	¥766
13 *F-367-G	¥346
合計	2点
	¥1,112
	(内消費税等 ¥52)
ICカード付	¥1112
XXXXXXXXX2595	
前回フリカ付残高	¥1,316
今回フリカ付利用金額	¥1,112
フリカ付残高	¥204

商品名に「@」があるもの=適合商品
商品名に「*」があるもの=非適合商品

図 北大生協レシートでのグリーン適合商品に対する表記

■ 不要自転車・放置自転車の回収とリサイクル自転車の販売

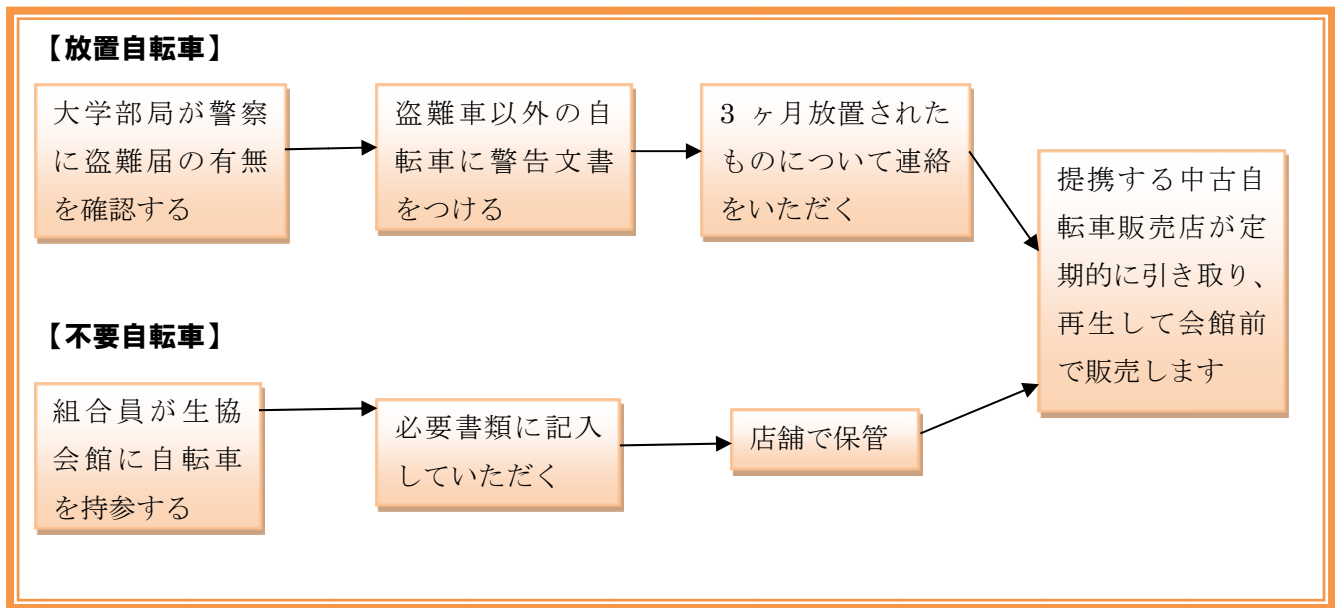
組合員からの不要自転車の引き取り、および大学構内での放置自転車の回収を行っています。2012年度は組合員から譲渡された不要自転車が129台（昨年度147台）、キャンパス内で回収した放置自転車が10部局から計456台（昨年度7部局564台）でした。北大生協で回収した放置自転車は減少していますが、協力部局数の減少に比べ台数の減少幅は小さいことや学内の利用状況から見て、自転車放置自体が大幅に改善されているとは考えにくいです。

不要自転車の回収が年々減少してきていることから、今年度は放置前の不要自転車の回収を推進していくために、自転車回収についてのポスターを新しくしました。また、自転車の回収・保管手続きのやり方について改善点を見つけるために新しくアンケートも実施しています。

表 2012年度における不要自転車・放置自転車回収台数

2012		3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	合計
組合員		55	22	9	8	4	4	4	1	5	0	6	11	129
施設部						72								72
財務部														0
図書館	本館						29				21			50
情報基盤														0
歯学部														0
学務部	高等教育													0
学務部	クラーク会館									103				103
保健学科					45									45
病院			69											69
環境科学院						33								33
法学部			23											23
獣医学部										14				14
低温研														0
農学部														0
北方圏					23									23
恵迪寮														0
工学部														0
生協会館前										34				34
生協会館南														0
中央食堂横														0
創成棟														0
大学計		0	92	0	68	105	29	0	0	151	21	0	0	466
合計		55	114	9	76	109	33	4	1	156	21	6	11	595

～放置自転車・不要自転車の回収の流れ～



組合員・地域の方へ

これまでの内容でもご紹介しましたとおり、北大生協で行っている環境の取り組みの中には、組合員のみなさんや地域の方々にご参加・ご協力をお願いしているものがあります。この報告書をご覧いただいたことを契機に、これらの取り組みにご協力・ご参加いただければ幸いです。

■ 資源回収を行っています

北大生協の店舗では、下記のものについて資源回収を行っております。ご家庭でご不用になりましたものがありましたら、ぜひお持ちください。

- ・不要自転車引き取り …北大生協会館1階サービスカウンター
- ・廃食用油 …生協会館、工学部購買、北部食堂2F、中央食堂入口
- ・牛乳パック・古新聞 …生協会館、工学部購買、北部食堂2F
- ・トナーカートリッジ …生協会館、工学部購買、北部食堂2F インクカートリッジも可

※生協会館の場所は未定です(2013年12月現在)。

■ 組合員活動への参加をお待ちしています

北大生協では、機関誌の配布や組合員活動(組合員のみなさんと一緒に行う取り組み)を行っています。まだご存じない方には、ぜひご覧いただき、またご参加いただければと思います。

- ・参加型企画 …大学祭期間中のごみナビゲーション(学生組織委員会)
- ・機関誌 …letter(学生組織委員会)、きぼうの虹(院生・教職員委員会)
- ・生協へのご意見 …「組合員の声」投稿(各店舗の「組声BOX」、または北大生協Webページ)

■ 北大生協からの情報をご覧ください

北大生協からは、最新の情報をWebサイト等でご紹介しています。また、過去の環境報告書や「組合員の声」などの情報もご覧いただくことができます。学生委員会のWebページでは、ごみナビゲーションの詳しい情報なども載っておりますので、ぜひご覧ください。ご質問等ございましたらお気軽に、メールまたはお電話にてお寄せください。

- ・北大生協Webサイト <http://www.hokudai.seikyoku.ne.jp/>
「環境活動」リンク <http://www.hokudai.seikyoku.ne.jp/soumu/kankyoku/>
- ・北大生協学生委員会Webサイト <http://hokudaigi.web.fc2.com/>
- ・北大生協学生委員会ブログ <http://hokudaigi.blog119.fc2.com/>
- ・北大生協院生委員会Webサイト <http://www.hokudai.seikyoku.ne.jp/~insei/>
- ・北大生協留学生委員会Webサイト <http://www.hokudai.seikyoku.ne.jp/isc/index.html>

ここまで「2012年度 北大生協環境報告書」をご覧いただき、ありがとうございました。

これまでのページでご紹介してきた取り組み・データは、いずれもまだまだ改善の余地があるものばかりです。ぜひ、組合員のみなさん、地域の方々のご協力とご指導を賜りながら、改善を進めてまいりたいと考えておりますので、今後とも北大生協へのご支援をお願いいたします。

北大生協2012年度環境課題推進委員会 委員一同

『環境報告書 2012』

発行：北海道大学生協同組合

編集：北大生協理事会

北大生協環境課題推進委員会

発行月：2013年12月

問い合わせ先：

〒060-0808 札幌市北区北8条西7丁目

TEL：011-746-6218

E-Mail：seikyou@coop.hokudai.ac.jp

表紙写真は『きぼうの虹 2013年フォトコンテスト』応募作品より転載いたしました。